



田んぼの生き物調査が行われました。(多面的機能支払交付金)

平成27年6月18日(木)に、長須小学校(坂東市)の4年生が参加して、西総土地改良区管内の長須西部地区地域資源保全協議会による生き物調査が行われました。

本協議会は、多面的機能支払交付金を活用し、農村環境に対する理解の促進や、水路での事故防止の啓発を目的として、地元小学生を対象とした「田んぼの生き物調査」を平成19年度より実施しております。

生き物調査以外にも、水質キットを使った水質(pH)の測定(パックテスト)なども行われ、魚が棲みやすい水質だということが分かりました。

子供達からは、生き物や水質について知ることができ、楽しかったなどの声があがりました。

当日は、西総土地改良区を始め、地元消防団、小学校の先生、PTA、茨城県立自然博物館と様々な方々のご協力のもと、当所職員も参加して行われ、無事に調査を終えることができました。

また、当所からは、農業農村整備事業PR用パンフレットを用いた説明と、農地局マスコット「ミドリ」のメモ帳配布を行い、事業をPRすることができました。

生き物調査の状況



西総土地改良区の間中事務局長より、事故防止の注意喚起などのお話がありました。



西総土地改良区をはじめ、消防団、小学校の先生、PTAの方々のご協力のもと生き物調査が行われました。



子供たちは、生き物調査に真剣に取り組んでいました。



オイカワという魚が採れました。その他、タモロコ、カワムツといった様々な魚が採れました。